

平成28年度研究科入学者選抜試験問題（第2次）出題意図

《医学系研究科 看護学専攻 博士前期課程》

〔小論文〕

看護管理学コース

問1：経験数年の看護師と経験6年以上の看護師の2群の勤務帯リーダーに求められる能力に対する自信を比較した表を提示し、データを読み解く能力を問うた。

問2：経験数年の看護師が自信を持って勤務帯リーダーとしての役割が取れるようになるための方策を問い、人材育成に対する問題意識と、問題解決のための論理的思考力を確認した。

地域・在宅看護学コース

地域で生活する人々を支援するために、看護職は幅広い視点を持つ必要がある。健康は経済、文化等により様々な影響を受ける。人々が抱える健康課題は経済状況、社会的・文化的な問題と関連していることの意味を問うことを意図して出題した。

母子看護学コース

問1：小児の貧困を取り上げ、その背景とそれによって起こる健康問題について論じることによって、日本の母子保健に対する知識と関心の程度を測ることを意図とした。

問2：小児疾患に対する看護の知識を問うことを意図とした。

成人（急性・慢性）看護学コース

がん患者とその家族は意思決定の場面において、さまざま反応を呈する。このことから、看護師はがん患者とその家族が納得した意思決定を行うことができるように支援することが必要である。問1では看護師の支援が必要な意思決定に関する知識を問うた。問2ではがん患者とその家族の意思決定を支える看護介入について、具体的な事例を用いて論じることを求め、個別性を踏まえた判断力や看護実践能力がどの程度備わっているかを問うた。

高齢者看護学コース

エンパワメントの概念に関する基礎的な知識を問うとともに、老年看護実践に結びつけて思考できるかどうかを意図した。

〔英語〕

医療・看護学分野の英文を読み、文法を理解した正確な読解力と大意を把握する能力など看護学専攻博士前期課程大学院生として必要な英語力と基礎的学力の程度を確認することを意図して出題した。